

2 目標達成計画

事業所名： グループホーム 若園荘

作成日： 令和2年2月19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	居室が2階、3階にあり、避難計画は念には念を入れる必要がある。消防署の専門的な指導を受ける機会を増やすと共に定期訓練に加え、毎月ミニ訓練を実施するなどして、細心の対策、対応に継続的に取り組む必要がある。	毎月日程を決めて定期的にミニ訓練を行う。	①階段を利用した避難訓練(毎週1回以上)。 ②AEDの使用法(3ヶ月に1回程度)。 ③地震・水害時の避難方法(2ヶ月に1回程度、年2回の火災訓練の他に消防署の指導を1回入れていく)。 ④防災機器の使用法(対応の方法)(2ヶ月に1回程度)。	6 か月
2	33	終末期等、対応を要する利用者が出た場合、家族とよく話し合い考え方の確認や共有を図ると共に主治医と相談するなど家族が安心して看取る事ができるように支援に取り組む事を期待したい。	本人様・ご家族の人生ノートを活用し、チームの連携強化を図る。	①本人・ご家族の意向を確認し、人生ノートを整備していく。 ②人生ノートのチームへの周知・活用。	6 か月
3	2	地域との交流を一層進める上で町内会の回覧板にホームの情報を掲載してもらうことも一つであり、運営推進会議メンバーの町内会長さん方に相談してみる事をお勧めしたい。	南昌便り(法人内各事業所の合同広報誌)の活用。	①玄関先掲示板に広報誌を置き、自由に手にとって見てもらえるようにする。 ②運営推進会議にて町内会長はじめ各委員へ若園荘の活動内容の回覧板利用について話し合ってみる。 ③南昌だよりの配布先を増やしていく。	1~2 か月
4					か月
5					か月